【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第６区分
【発行日】平成17年3月10日(2005.3.10)

【公表番号】特表2000-515101(P2000-515101A)
【公表日】平成12年11月14日(2000.11.14)
【出願番号】特願平10-505913
【国際特許分類第７版】
　Ｂ６５Ｄ　 5/52
　Ａ６１Ｊ　 1/14
　Ｂ６５Ｄ　51/24
【ＦＩ】
　Ｂ６５Ｄ　 5/52　　Ｆ
　Ｂ６５Ｄ　51/24　　Ｄ
　Ａ６１Ｊ　 1/00　３９０Ｓ

【手続補正書】
【提出日】平成16年6月23日(2004.6.23)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】補正の内容のとおり
【補正方法】変更
【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成１６年 6 月23日

特許庁長官　今 井 康 夫　殿

１．事件の表示

平成１０年特許願第５０５９１３号

２．補正をする者

住 所　スウエーデン国エスー151 85 セーデルテイエ（番地なし）
名 称　アストラゼネカ・アクチエボラーグ

３．代 理 人

住 所　東京都千代田区麹町一丁目１０番地(麹町広洋ビル)
電 話 （３２６１）２０２２
氏 名　(9173) 高 木 千 嘉
（外１名）

４．補正命令の日付（自発）

５．補正対象書類名

請求の範囲

６．補正対象項目名

請求の範囲

７．補正の内容

請求の範囲を別紙のとおり補正します。

特許庁 16.6.23 出願支援課 窓口

請求の範囲

1．カートンを形成するためのブランクであって、並んで配置され、折り線（３，５，７）によって相互に連結した少なくとも３つの壁形成パネル（１，２，４，６）を有しているスリーブ形成部分と、スリーブ形成部分の片側で折り線（９）に沿って第１の壁形成パネル（１）に連結してあり、カートンを組み立てたときにスリーブ形成部分の反対側で第２の壁形成パネル（６）と係合する閉鎖タブ（８）と、折り線（16，17，18，19，20，21）に沿ってスリーブ形成部分の端部に連結してあり、組み立てたカートンの端部を閉じる端部フラップ（10，11，12，13，14，15）と、折り線（26）に沿って前記第２の壁形成パネル（６）に連結してあり、カートンを組み立てたときに、壁形成パネル（１，２，４，６）のうちの少なくとも１つに重なるようになっている付加的なパネル（25）とを包含するブランクにおいて、付加的なパネル（25）が少なくとも１つの固着用フラップ（27，28）を有し、各固着用フラップ（27，28）が折りたためる破断線（29，30）に沿って付加的なパネル（25）の一端に連結してあり、カートン組み立て時、前記端部フラップ（10，12，14；11，13，15）の１つに固定係合して前記カートンを無断開封不能とすることを特徴とするブランク。

2．付加的なパネル（25）が、ブランクの片側に形成される固着用フラップ（28）を１つだけ有し、カートン組み立て時に付加的なパネル（25）の下に位置する第１の壁形成パネル（１）が、折り線（33）に沿って端部フラップ（32）に連結してあり、この端部フラップ（32）が、カートン組み立て時に反対側の端部フラップ（12）に固定されて前記カートンを無断開封不能とするようになっている、請求項１に記載のブランク。

3．タックイン・タブ（22）が、折り線（23）に沿って前記端部フラップ（10，11，12，13，14，15）のうちの少なくとも１つに連結している、請求項１に記載のブランク。

4．前記少なくとも１つの固着用フラップ（27，28）がタックイン・タブ（22）に連結した端部フラップ（13）に重なるようになっている、請求項３に記載のブランク。

5．付加的なパネル（25）がカートン組み立て時に前記第１の壁形成パネル（１）に重なるようになっている、請求項１～４のいずれか１つに記載のブランク。

6．前記付加的なパネル（25）が、前記折り線（26）と反対の側に耳（31）を有する、請求項１～５のいずれか１つに記載のブランク。

7．付加的なパネル（25）がその下に位置する壁形成パネル（１，６）と同じ寸法あるいはそれよりも小さい寸法を有する、請求項１～６のいずれか１つに記載のブランク。

8．折り線（３，５，７）によって相互連結した少なくとも３つの壁形成パネル（１，２，４，６）からなるスリーブ部分と、折り線（９）に沿って第１の壁形成パネル（１）に取り付けてあり、第２の壁形成パネル（６）と係合する閉鎖タブ（８）と、スリーブ部分の端部に折り線（16，17，18，19，20，21）に沿って取り付けてあり、スリーブ部分の端部を閉じている端部フラップ(10，11；12，13；14，15）と、折り線（26）に沿って壁形成パネル（１，２，４，６）の１つに連結してあり、壁形成パネル（１，２，４，６）のうちの少なくとも１つに重なるようになっている付加的なパネル（25）とを包含するカートンにおいて、付加的なパネル（25）が少なくとも１つの固着用フラップ（27，28）を有し、この固着用フラップ（27，28）が、折りたためる破断線（29，30）に沿って付加的なパネル（25）の一端に連結してあり、前記端部フラップ（10，12，14；11，13，15）のうちの１つと固定係合して前記カートンを無断開封不能にすることを特徴とするカートン。

9．付加的なパネル（25）が、ブランクの片側に形成される固着用フラップ（28）を１つだけ有し、カートン組み立て時に付加的なパネル（25）の下に位置する第１の壁形成パネル（１）が、折り線（33）に沿って端部フラップ

（32）に連結してあり、この端部フラップ（32）が、カートン組み立て時に反対側の端部フラップ（12）に固定されて前記カートンを無断開封不能とするようになっている、請求項８に記載のカートン。

10．タックイン・タブ（22）が、折り線（23）に沿って、前記端部フラップ（10，11；12，13；14，15）のうちの少なくとも１つに連結している、請求項８または９に記載のカートン。

11．前記少なくとも１つの固着用フラップ（27，28）が、前記タックイン・タブ（22）に連結した端部フラップ（13）に重なる、請求項 10 に記載のカートン。

12．付加的なパネル（25）の折り線（26）がスリーブ部分の折り線（３，５，７；16，17，18，19，20，21）の１つと一致している、請求項８～11 のいずれか１つに記載のカートン。

13．付加的なパネル（25）が前記第１の壁形成パネル（１）に重なる、請求項８～12 のいずれか１つに記載のカートン。

14．前記の付加的なパネル（25）が耳（31）を有し、この耳が、折り線（26）の反対側で付加的なパネル（25）に形成してあり、カートンから突き出ている、請求項８～13 のいずれか１つに記載のカートン。

15．付加的なパネル（25）が、その下に位置する壁形成パネル（１，２，４，６）と同じ寸法あるいはそれよりも小さい寸法を有する、請求項８～14 のいずれか１つに記載のカートン。

16．酸分泌抑制物質である、少なくとも１種の医薬上活性な物質を持ち運ぶための、請求項８～15 のいずれか１つに記載のカートンの使用。

17．組み合わせて投与しなければならない薬剤のシステムを持ち運ぶための、請求項８～15 のいずれか１つに記載のカートンの使用。

18．前記薬剤システムが、少なくとも１つのベータ・ブロッカーと少なくとも１つの抗炎症性の物質を含有する、請求項 17 に記載の使用。

19．前記薬剤システムが、酸分泌抑制物質と１種またはそれ以上の抗菌物質とを含有する、請求項17に記載の使用。